

第22回広島県障害者フライングディスク競技大会
実施要項

- 1 目的
フライングディスク競技を通じて、健康維持・体力増進・機能回復などを図るとともに、社会参加を促進し、障がい者スポーツの一層の充実と発展を期する。
 - 2 主催
広島県立障害者リハビリテーションセンター スポーツ交流センター
 - 3 共催(予定)
公益社団法人広島県パラスポーツ協会
 - 4 後援(予定)
日本障害者フライングディスク連盟 ひろしま障害者フライングディスク協会
一般社団法人広島県身体障害者団体連合会 一般社団法人広島県手をつなぐ育成会
広島県知的障害者福祉協会 広島県身体障害者施設協議会
社会福祉法人広島県社会福祉協議会 一般社団法人広島県精神保健福祉協会
公益社団法人広島県精神保健福祉家族会連合会 東広島市教育委員会
広島県障害者社会参加推進センター 社会福祉法人東広島市社会福祉協議会 中国新聞社
NHK広島放送局 中国放送 広島テレビ 広島ホームテレビ テレビ新広島
 - 5 協力(予定)
日本障害者フライングディスク連盟公認指導者 東広島市スポーツ推進委員協議会
ブリコ東広島FC 公認障がい者スポーツ指導者 おりづるサポーター
広島県立黒瀬高等学校 広島大学体育会トライアスロン部
 - 6 日時
令和4年6月19日(日) 10:00~15:30(予定)
受付 9:00~9:45
開会行事 10:00~
競技 10:20~15:00
(午前-アキュラシー競技, 午後-ディスタンス競技)
閉会式
- ※当日、会場近辺が雨天の場合は中止とする。(グラウンドコンディションが整わないため)
前日が雨天の場合は、前日(6月18日)午後4時の段階で中止の判断をする。
※天候不良の問い合わせはスポーツ交流センターおりづるで受け付けます。
前日(6/18 土): 16:00~20:30まで
当日(6/19 日): 6:30より受付開始
※開催可否については、おりづるホームページ・ツイッターでもご覧いただけます。
- 7 会場
東広島運動公園 多目的グラウンド【東広島市西条町田口67-1】
 - 8 競技種目(すべて個人競技とする)
 - ①アキュラシー競技【5mまたは7mの距離に置いた輪に向けてディスクを連続して10投し、輪を通過した枚数を競う。】
 - * ディスリート・ファイブ(距離5m) * ディスリート・セブン(距離7m)
 - ②ディスタンス競技【ディスクを連続して3投し、最も遠くへ飛んだディスクの距離を競う】
 - * レディース・シッティング(座位者女子) * メンズ・シッティング(座位者男子)
 - * レディース・スタンディング(立位者女子) * メンズ・スタンディング(立位者男子)

9 競技区分

- ①アキュラシー・ディスタンス共に障害による区分はせず、男女別・年代別（10代～50代以上の部）とする。
- ②ディスタンスは加えて立位・座位のクラスとする。

10 競技規則

日本障害者フライングディスク連盟競技規則及び全国障害者スポーツ大会競技規則による。

11 参加資格

広島県内に在住する身体障害児・者、知的障害児・者、精神障害者とする。

- ①身体障害者…身体障害者手帳所持者（内部障害を含む）で中学生以上の者。
- ②知的障害者…療育手帳の交付を受けたもの。あるいは医師の診断等により競技に出場が適当と認められた者、および特別支援学校、特別支援学級、障害者支援施設などに在籍する者で中学生以上の者。
- ③精神障害者…精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者。あるいは、医師の診断等により競技に出場が適当と認められた者で中学生以上であること。ただし、全国障害者スポーツ大会競技種目に精神障害児・者の区分がないため、広島県代表選手選考の対象とはならない。

12 参加制限

アキュラシー競技を1種目、ディスタンス競技を1種目それぞれエントリーすることができる。

13 表彰

- ①アキュラシー
組ごとに順位をつけ、1～3位の選手を決定し、**賞状とメダルを授与する。**
- ②ディスタンス
年代別、男女別、立位・座位別に競技し、組ごとに順位をつけ、1～3位の選手を決定し、**賞状とメダルを授与する。**
- ③記録証は発行しない。

14 申し込み

参加申込書に必要事項を記入の上、令和4年5月31日（火）《**必着**》までに次の申込先に郵送・持参・FAX・E-mailのいずれかの方法で申し込むこと。

（参加申込書は実施要項添付のものを使用するかホームページからダウンロードする）

※FAX・Eメールの場合はTELで着信の確認を必ず行うこと。

◇申込み・お問い合わせ先◇

〒739-0036

東広島市西条町田口295-3

スポーツ交流センター

Tel 082-425-6800

Fax 082-425-6789

ホームページ：<http://www.rehab-hiroshima.org/ori-top.html>

E-mail；oridsuru@hiroshima-wsc.jp

15 その他

- ①本大会は、特別全国障害者スポーツ大会（燃ゆる感動かごしま大会）の選手選考を兼ねるものとする。（ただし、精神障害者は選考の対象外とする）
- ②参加選手のゼッケンについては、主催者側が用意する。
- ③競技に使用するディスクは、主催者側で用意した公式ディスク（ファーストバックモデル）を使用すること。
- ④アキュラシー競技の距離の選択（5mまたは7m）については任意とする。
- ⑤ディスタンス競技の座位者とは、車いす使用者以外でもエントリーすることができる。ただし、

スローイング時には主催者側の指定した椅子に座って競技すること。

- ⑥ 主催者においては、応急の処置しかできないので、参加にあたっては医師の診察を受けるなど、自己の責任において健康と安全について十分注意すること。
- ⑦ 大会当日、テレビ、新聞等の報道機関が来場することが予想され、選手の氏名、写真、映像及びテレビ、新聞等で報道されることがある。また、大会プログラム、大会報告書及びスポーツ交流センターおりづるの広報誌等に掲載するので、このことも了承のうえ申し込むこと。
- ⑧ 大会参加前体調管理票を当日持参し提出すること。(団体は参加選手全員、介助の方も提出すること。)
- ⑨ 当日の参加申し込み及び代理出場は認めません。

16 新型コロナウイルス感染症対策について

- ① 当日はマスクを持参し、主催者側の感染予防対策に従ってください。
- ② 次の方は参加を見合わせてください。
 - ・ 当日検温時に平熱より概ね1度以上熱が高い方、又は37.5度以上の方
 - ・ 咳、倦怠感、臭覚や味覚の異常がある等体調が良くない方
 - ・ 海外から帰国(入国)後、政府が指定する入国後待機期間が終了していない方、もしくはその方と濃厚接触のある方。
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われている場合。
- ③ 選手・介助者は大会当日に指定の場所で消毒を行うこと。
※指定の場所以外でも、手洗い・消毒に努めること。
- ④ 運動時(競技やウォーミングアップ)を除いてマスクを着用すること。なお、他者との距離が2m以上離れている場合や息苦しい場合等については適宜マスクを外しても良いが、大きな声での会話や声援を控えること。競技中も可能な限りマスクやフェースシールドを着用すること。
- ⑤ 選手同士の接触の機会を減らすため、必要以上に早い時間に来場したり、試合終了後に長時間滞在することがないように努めること。
- ⑥ 観客席では他者との距離を十分にとり、飛沫感染予防のため大きな声で声援をしないこと。
- ⑦ 当大会参加後、2週間以内に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所・診療所(かかりつけ医)等に相談後、必ず大会主催者に報告する。
- ⑧ 新型コロナウイルス接触確認アプリ等を積極的に活用する。
- ⑨ 今後の新型コロナウイルス感染症の流行状況等により、プログラムや大会運営を一部または大幅に変更、もしくは大会を中止する場合がある。
- ⑩ 大会に参加するにあたっては、感染拡大予防ガイドラインを遵守すること。